

総合的な学習の時間
学習指導案形式例
(群馬県教育委員会)

【単元の目標】
・長期間の単元を通して、各校の全体計画(※)に10項目で示している資質・能力の育成を目指すことから、総括的に一文でまとめて記述する。その際、**以下の4つの要素を構造的に配列する。**
(ア) 中核となる学習活動
(イ) 重視する「知識及び技能」
(ウ) 重視する「思考力、判断力、表現力等」
(エ) 重視する「学びに向かう力、人間性等」

※全体計画の作成については、「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」(文部科学省)
小学校編P 6 1～P 7 7
中学校編P 6 7～P 8 5 を参照

【指導計画】
・総合的な学習の時間は、探究の過程が繰り返される長期間の単元となることから、指導計画については別紙で示す。
※各学校ですでに作成してある指導計画がある場合は、新たに本形式で作成する必要はなく、それを別紙として添付してもよい。

【探究課題の価値】
・設定した探究課題について、児童生徒の資質・能力の育成とのつながりから、その特性や魅力、必要性などを記述する。その際、以下の内容を具体的に記述する。
(例) 児童生徒の関心や疑問、地域や学校の特色、各教科等との関連、教師の思いや願い、社会の要請等の教育的な価値、概念的な知識など

総合的な学習の時間 学習指導案
単元名「○○○○○○○○○○」
〔探究課題：○○○○○○○○○○〕
令和○年○月○日(○) 第○校時 ○○○○教室
○○立○○○学校 ○年○組 指導者 ○○ ○○

I 単元の構想

1 単元の目標及び児童(生徒)の実態

単元の目標	<文型・文末例> (ア)をすることを通して、(イ)を理解し、(ウ)について考えるとともに、(エ)できるようにする。		
児童(生徒)の実態	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	単元の目標の(イ)に対応する児童生徒の状況	単元の目標の(ウ)に対応する児童生徒の状況	単元の目標の(エ)に対応する児童生徒の状況

2 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①	①	①
	②	<文末例> 知・技、思判表「～している。」 主体態「～しようとしている。」	
	③	③	③
		④	

3 指導及び評価、ICT 活用の計画(全○時間：本時第○時) ※別紙参照

4 探究課題の価値

--

【単元名】
・単元名は、活動を進める中で児童生徒たちが設定していくこととなるため、本時が、単元名を設定する以前の授業である場合、授業者の考える単元名に(案)を付けて記述する。
・探究課題については、全体計画に示しているものを転記する。

【児童(生徒)の実態】
・本単元の目標との関わりから、児童生徒の状況を簡潔に記述する。
・単純に「～ができない」といった否定的な記述のみは避け、児童生徒の実態を肯定的に捉え、「～については、理解している。」のように、プラス面を記述する。

【評価規準】
・「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(国立教育政策研究所)を参考にし、作成をする。
・全体計画に示している育成を目指す資質・能力を基に「知識・技能」については、3項目
①概念的な知識の獲得
②自在に活用することが可能な技能の獲得
③探究的な学習のよさの理解
「思考・判断・表現」については4項目
①課題の設定
②情報の収集
③整理・分析
④まとめ・表現
「主体的に学習に取り組む態度」については3項目
①自己理解・他者理解
②主体性・協働性
③将来展望・社会参画
の中から、単元の目標に対応する形で、本単元で評価するものを記載する。○の数字は、3観点それぞれ別紙の単元計画の数字とそろえる。

- ・「学習活動＋本時に身に付けさせたい力」にし、教師の立場で、具体的かつ簡潔に記述する。
- ・どの単位時間でも同じ記述にならないように、単元における本時の位置付けを明確にする。
- ・参観者の視点を踏まえ、「ねらい」を見ただけで、授業の主たる学習活動や目標がイメージできるように記述する。（授業の視点となる）

- ・「ねらい」を達成するために「何を」「どのように」学ぶのかなど、学習の見通しが明確に意識できる児童生徒向けの言葉を記述する。※「はばプラⅡ」参照

- ・番号を付け、児童生徒の立場で、具体的かつ簡潔に、記述し、時間は大まかに（〇分）で示す。
- ・「導入」「展開」「終末」の区切りは実線野線、「展開」を細分化する場合は、点線野線とする。

- ・児童生徒の反応を「S」として記述する。
- ・本時の「ねらい」の到達に向かって、児童生徒の意識が変容していく様子を表現する。
- ・児童生徒主体の学習活動が中心となるが、問題を見いだしたり、課題を設定したりする場面において、教師が発問をする場合には、実線四角で主な学習活動の枠中に示す。

- ・めあてに対する達成度や進捗状況を記述する。個人やグループで異なる場合は、予想される児童生徒の反応を「S」として記述する。

- ・次時の見通しをもち、気付いたこと、分かったこと、頑張ったこと、次時に向けての意欲等を記述する。

[illegible]

- ・ ICT活用そのものが、児童生徒の探究の質を向上させるのではなく、ICTを「いつ、どこで、どのように」活用するか、教師がその有用性を明確に捉え、位置付けることが重要となる。 ※位置付かない場合もある
- ・ ICTに関わる活動や指導上の留意点の文章の後に、**【★○○】** など、活用する機能を簡潔に示す。

※「問題解決的な学習を充実させる機能」(県義教発行)参照

- ・児童生徒が、授業の「ねらい」に迫るための教師による直接的な手立て（指導・支援）を記述する。

「問いかけ（発問）」「ゆさぶり」「助言」「促し」
「考えの取り上げ方やつなぎ方」「称賛」等

- ・「（児童生徒が）～～～できるように、（教師が）～～～する。」と、「目的+手立て」で記述する。
- ・つまずきがみられる状況と判断される児童生徒への手立てについても記述する。

- ・別紙の「3 指導及び評価、ICT活用の計画」と評価の観点を合わせ、「どのような評価材料（A）から、どのような姿をみとり（B）、評価するのか」を明確に記述する。

【「つかむ」過程】

- ・単元の課題には、児童生徒たちが話し合って設定するゴールイメージを記述する。
- ・単元名は、単元の課題をキャッチフレーズ化したものが示されることになる。
例) 単元の課題：防災MAPをつくって地域に配ろう
単元名：〇〇市の防災リーダーになろう！

- ・必要に応じて、時数を分けて表してもよい。

【「追究する」過程】

- ・①「課題の設定」②「情報の収集」③「整理・分析」④「まとめ・表現」といった探究のプロセスを踏まえた構成となるよう記述する。
- ・探究のプロセスは、常に①～④が順序よく繰り返されるわけではなく、順番が前後したり、一つの活動の中に複数のプロセスが一体化して同時に行われる場合もある。
- ※各プロセスの指導のポイントについては「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」（文部科学省）小・中編ともにP 2 4 を参照。

【「まとめる」過程】

- ・単元の振り返りを通して、児童生徒が考える視点（自己の成長や学びの価値、これからの生き方等）を明確にして記述する。

<別紙>

3 指導及び評価、ICT 活用の計画（全〇時間：本時第〇時）

	時	学習活動	知	思	主
つかむ	〇～〇	探究課題と出会い、単元の課題を把握する。 〇〇時間 ・~~~~~。(i) ・~~~~~。(a) ・~~~~~。(ii) ・~~~~~。(i) 単元の課題 ※探究課題との出会いから導き出された単元を通して探究する内容 ・~~~~~。(う) 単元名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ※単元の課題をキャッチフレーズ化したもの	①		①
		単元の課題に基づき、各グループで課題を設定し、追究する。〇〇時間 【課題の設定】 ・~~~~~。(i) (b) 【情報の収集】 ・~~~~~。(a) 【整理・分析】 ・~~~~~。(a) ・~~~~~。(a) ・~~~~~。(a) (i) 【まとめ・表現】 ・~~~~~。(う) (ii)		① ② ③ ④	
		新たな課題を見いだし、継続して追究する。 〇〇時間 【課題の設定】 ・~~~~~。(a) (c) ・~~~~~。(i) 【情報の収集】 ・~~~~~。(a) (a) 【整理・分析】 ・~~~~~。(う) ・~~~~~。(a) (a) 【まとめ・表現】 ・~~~~~。(i) (a) ・~~~~~。(i) (a)	②	① ② ③ ④	② ③
まとめる	〇〇～ 〇〇	単元全体の学習の振り返りをする。 〇〇時間 ・~~~~~。(i)	③		

*活用する学習支援ソフト等：(a) (i) (う)
*活用するコンテンツ等：(a) (b) (c)
*活用する人材等：(i) (ii) (iii)

【学習活動】

- ・児童生徒の思いや意識を予想して記述し、児童生徒が自ら探究活動を進めるイメージをもって記述する。
- ※児童生徒の活動は授業者の想定通りにはならない場合もあるため、単元計画の作成時には柔軟に修正していけるよう、大まかな学習活動のまとまりを記述する。

【評価の計画】

- ・単元の評価規準に照らし、各単位時間の評価の観点を、絞り込んで位置付ける。
- ・1枚目の「2 評価規準」を基に、3観点10項目全てを単元全体で評価できるよう、バランス良く記述する。
(一部を概要で示したり、小単元で計画を示したりする場合にはこの限りでない)
- ・各教科等の評価の表し方や考え方、観点の位置付けについては「群馬県教育委員会『指導と評価の一体化の充実に関する資料』（各課発行・提供資料 義務教育課）」を参考にし、工夫して示す。

【活用する学習支援ソフト等】

- ・（平仮名文字）のあとに、学習をサポートするソフトウェア等を記述する。
例：(a) △△ボード、(i) テキスト□□□等

【活用するコンテンツ等】

- ・（英小文字）のあとに、参観者が後に参考とできるよう、学習で使用するWebのURL 情報などを記述する。
例：(a) <http://www.nc.gunma~~~~~> 等

【活用する人材等】

- ・（小ローマ数字）のあとに、活用する地域人材や専門家等、民間企業や団体名等を記述する。
例：(i) 〇〇公民館 (ii) ●●市××課職員